



CDE-MIYAGIの資格を持ち、CDEJとして活躍している先輩にインタビュー



佐藤 伸輔 さん（東北医科薬科大学 若林病院 薬剤師）

Q1. CDEJの資格を取得したきっかけ

資格を取得しようと考えたのは、CDEJが出来て第2回の認定試験の時でした。まだ若かった私は、糖尿病の専門医がいる病院に勤務し、糖尿病患者さんに服薬指導を実施しているにも関わらず糖尿病に関して知識が足りていませんでした。そこで患者さんに有意義な服薬指導が出来るようになるため、資格取得を目標に糖尿病について学習することにしました。資格取得は、あくまで通過点でしかありませんが、糖尿病について深く学ぶきっかけになったと思います。

Q2. 糖尿病患者の療養指導をするにあたって、心がけていること

薬剤師として適正使用を遵守するのはもちろんですが、特に私は糖尿病患者さんにはライフスタイルに合わせた処方設計を心がけています。せっかく薬を飲むのだから少しでも効果を得られる服用方法にしたいと考えています。

Q3. コロナ禍において、取り組んだCDE活動について

現在、コロナ禍という事もあり糖尿病の薬に関する研修会が減っておりました。そのなか昨年11月29日に東北地区のコメディカルを対象にしたオンライン研修会を開催。病院と調剤薬局での情報共有をテーマにし、講演だけでなくwebでグループディスカッションも行いました。薬剤師だけでなく医師や看護師、栄養士にも参加していただき、webにも関わらず活発な議論ができました。この研修会では、病院と調剤薬局が太いパイプでつながることが、糖尿病患者さんに有意義な服薬指導をする一歩だと感じる事が出来ました。



世界糖尿病デーの院内イベント
糖尿病チームの仲間と

Q4. CDE-MIYAGI資格取得者へ期待すること

糖尿病患者さんがより良いコントロールとなるためには、糖尿病に関する正しい知識、正しい技術を学ぶことがとても大切です。そのきっかけを作るのがCDE-MIYAGIの資格を取得した方々だと思います。是非資格を取得していただき、そこで得たものを患者さんに広めて欲しいと思います。

田中 玲奈 さん（仙台厚生病院 看護師）

Q1. CDEJの資格を取得したきっかけ

新人として就職した病棟が糖尿病科と他科の混合病棟で、先輩が資格を持ち患者さんに関わる姿を見て、資格を取る事で患者さんと生活を共に考える上で役立つと思ったからです。

Q2. 糖尿病患者の療養指導をするにあたって、心がけていること

患者さんが今までどのような指導を受けてきて、何に気を付けてきたのかをまず教えていただくようにしています。

Q3. コロナ禍において、取り組んだCDE活動について

例年、院内の糖尿病サポートチームで世界糖尿病デー啓発活動として無料血糖測定や清涼飲料水の含有糖質量の展示等を行ってきましたが、2020年度は感染対策上実施できませんでした。しかし宮城県のメタリックシンドローム該当者および予備群を合わせた割合は近年全国ワースト3位であることや、ステイホームの影響で運動不足の人が多くと予想される現状もありましたので、「ひと駅手前で降りて歩く事で消費できるカロリー」や、「間食で余分に摂ったカロリーを消費するにはどの程度の運動が必要なのか」を解説するチラシを作成し掲示・配布しました。対面でのイベントではないため感想が得づらかったのですが、「結構歩かないと消費できないんだね」「これっぽっちしか歩いてないんだ」と普段の生活に照らし合わせて実感できたようでした。



院内での無料血糖測定



2020年開催院内イベント
の掲示物

Q4. CDE-MIYAGI資格取得者へ期待すること

糖尿病有病者と予備群は約1000万人と言われており、活動をしていく仲間が増える事が大事だと思うので、仲間が増えてうれしいです。年々糖尿病治療は進化しており、糖尿病療養に関する知識を継続して勉強する必要があります。CDE-MIYAGIでは研修会の情報を提供して下さるので、一緒に勉強を続けていきましょう！

